

お早うとお休み

東京女子高等師範學校教授 黒田定治

朝起きた時にお早う、夜分寝るときにお休みと挨拶させるのは、両親や長上に對する禮儀で必要なる躰であることは言ふまでもないことである。

しかのみならずお早うとお休みは子供の活動と休息との區劃をなし、其の終始をなすもので、お早うで子供の休息が終つて活動に入り、お休みで活動が終つて休息が始まるので、此の簡單なる言辭で子供の身心の上に尠からぬ變化を來すのである。お早うの一語で子供の身體も活動し始め、精神も清潔となり、お休みの一語で身心共に安靜となつて安眠に就くことが出来るのである。學校で授業の終始に禮をするのと同じで、授業の始めの禮で子供の姿も正しくなり、精神も引き緊つて授業を受ける適當の状態に在ることができ、課業の

終りの禮で精神も身體も緩んで心身の休息を得るのである。課業の終始の禮がなく、のべつであつたならば専心課業を受けることもできず、遊戯運動も愉快でなからう。これと同じことでお早うも、お休みもないときは活動も十分できず、休息も十分に得られぬことになる。それであるから身體虛弱の子供や病氣にかゝつて居る子供は、活潑にお早うお休みを言ふものが少い。大抵は言はぬ方である。又何事かに激して居て精神の不安の場合にもお早うお休みも言はぬ。お早うお休みの言ひ方やそれを言ふと言ぬとで子供の身心の状態の如何を察し得らるゝものである。これを活潑に言ひ得るやうに子供を育つるのが大切である。活潑にお早うを言つた日は一日中活潑に活動し、活

激にお休みを言つた夜は一夜中十分の安眠をなすものである。

子供がお早うお休みを言つた時には、両親たちもお早うお休みと受け答へをしてやる必要がある。それは子供の挨拶に對する禮儀で子供の人格を尊重する所以であるのみならず、両親の受け答を得て始めて活動の社會に仲間入りした心持になり、心も静まつて安眠に就くこともできるや

子供の不成績は皆私共監督者の不注意の致す處

うになるのである。殊に両親にお休みと受け答へをされた時には、大に安心して両親の膝下を離れて單身床に入ることが出来るのである。獨りで薄暗い寢室に行つても、両親は彼處で己れを守つて居て下さると思ふて、何の恐怖もなく何の不安もなく眠に就くことができるのである。であるから子供の朝夕の挨拶に對しては両親はやさしく快く受け答をしてやることは甚だ大切の事である。

東京女子高等師範學校教授 宮 川 壽 美

私の兄や姉は皆軍港に居ますので此の頃兄や姉の子供を預かる事となりましたが、子供の教育といふものは、なかくに六ヶしいものだと云ふことを始めて知りました。子供は監督をして居る人に依つてどうにでもなるもので、學校の成績や、行

儀や性格までも、監督の仕方に依つて、酷く違つて行くもので少し注意して、世話をしますと、楽しい面白いものだとも知りました。この經驗から、子供を育てるには、左の如き注意が必要だと思ひました。